

### 3 主要業種（製造業に限る）別の状況【平成19年度届出使用量上位5業種】

#### (1) 化学工業（使用量第1位）

##### ア 使用量別

平成20年度の条例（化管法の届出対象外の事業所を除く。）の報告事業所は90事業所で、使用量別の事業所数は図6-1のとおりでした。使用量上位4事業所で、当該業種の使用量全体の61%を占めていました。

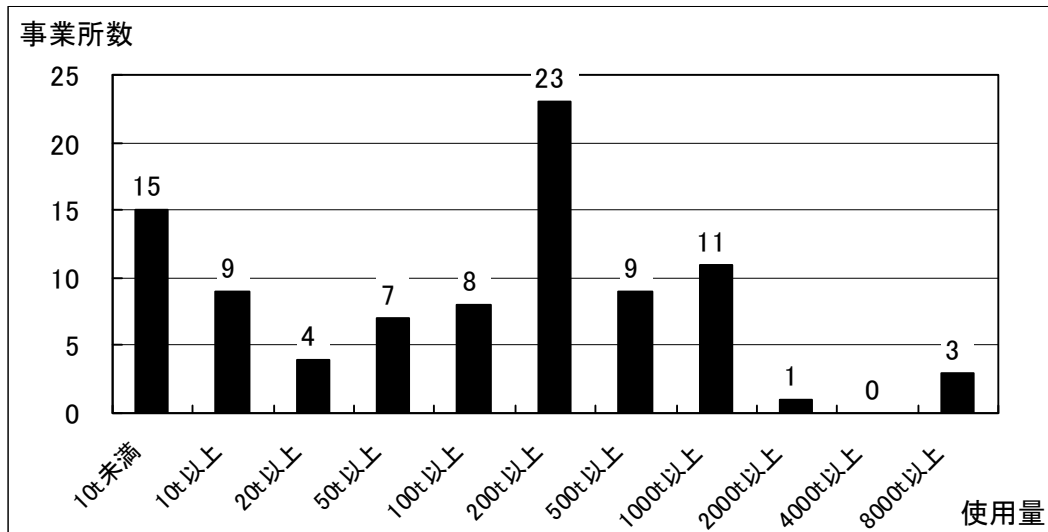


図6-1 使用量別事業所数

##### イ 当該業種が占める割合

化学工業は、条例に基づく報告を行った全事業所の排出量の30.1%を、管理目標（使用量削減目標）の50.3%を占めていました（図6-2、3）。

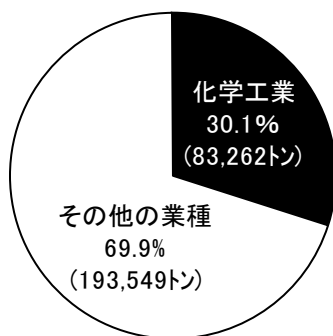


図6-2 使用量  
(平成19年度)

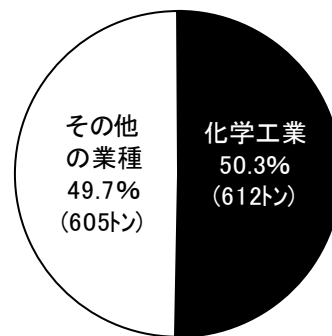


図6-3 使用量削減目標  
(平成20年度)

##### ウ 当該業種の管理目標（使用量削減目標）の達成状況及び設定状況

平成19年度の管理目標（使用量削減目標）1,099トンに対し、使用量が1,759トン増加し、目標を達成しませんでした。

平成20年度の管理目標（使用量削減目標）は612トンで、平成19年度使用量83,262トンの0.74%に当たります。

## エ 物質別の状況

### (7) 使用量の状況

平成19年度の物質別の使用量は、図6-4のとおりでした。使用量上位6物質で、当該業種の使用量全体の51%を占めていました。その他の物質の使用が非常に多く、多くの種類の化学物質を使用していました。

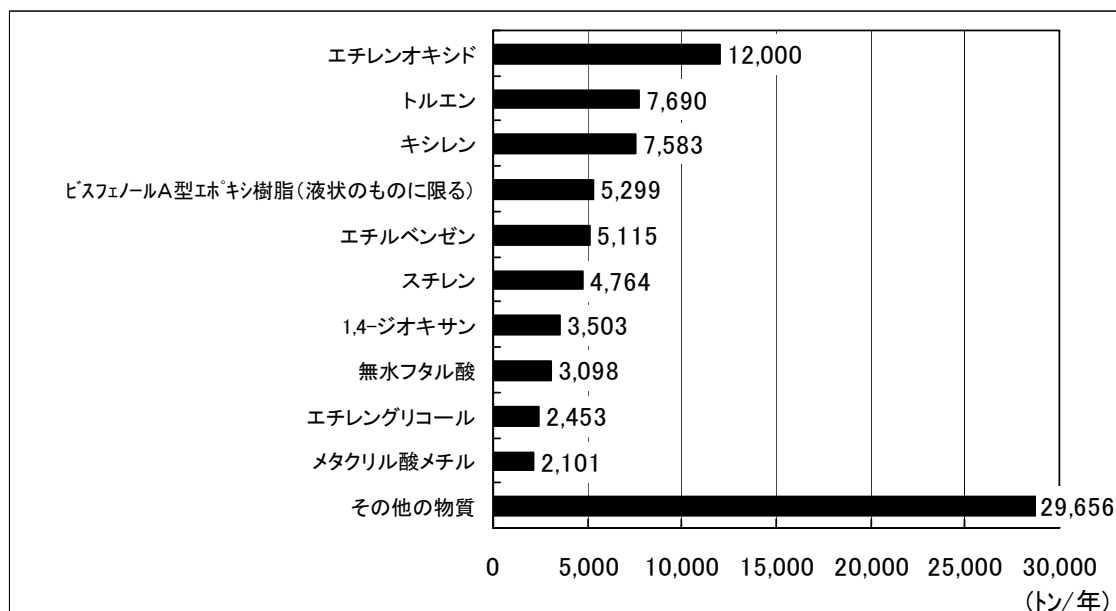


図6-4 物質別使用量

### (イ) 管理目標（使用量削減目標）の達成状況

平成19年度の物質別の管理目標（使用量削減目標）の達成状況は、表6-1のとおりでした。トルエンで目標を達成しましたが、使用量削減目標が最も大きいエチレンオキシドや有機スズ化合物、HCF C-225では目標を達成しませんでした。

表6-1 平成19年度物質別管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

平成19年度物質別管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

物質名	H19削減目標	H19削減実績	達成状況
① エチレンオキシド	430トン/年	0.73トン/年	非達成
② トルエン	152トン/年	377 トン/年	達成
③ 有機スズ化合物	150トン/年	-53 トン/年	非達成
④ HCF C-225	93トン/年	32 トン/年	非達成
● その他	274トン/年	-2116 トン/年	非達成

## (ウ) 管理目標（使用量削減目標）の設定状況

平成20年度の物質別の管理目標（使用量削減目標）の設定状況は、図6-5のとおりです。削減目標上位9物質で、当該業種の削減目標全体の83%を占めています。

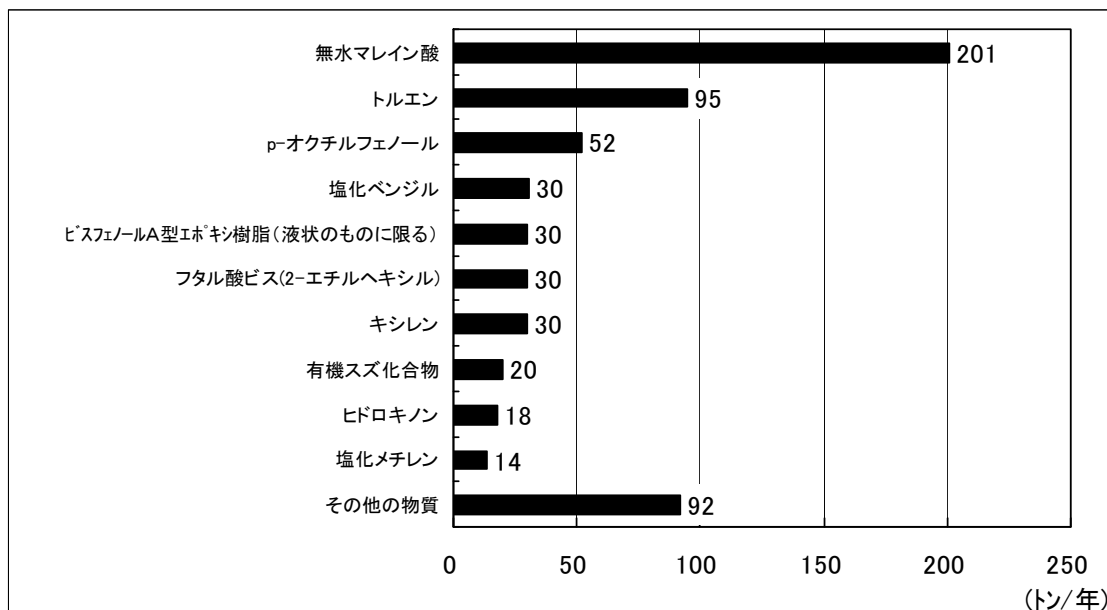


図6-5 物質別管理目標（使用量削減目標）

## オ 用途別の状況

### (ア) 使用量の状況

平成19年度の用途別の使用量は、図6-6のとおりでした。「溶剤、塗料など」が、当該業種の使用量全体の36%を占めていました。

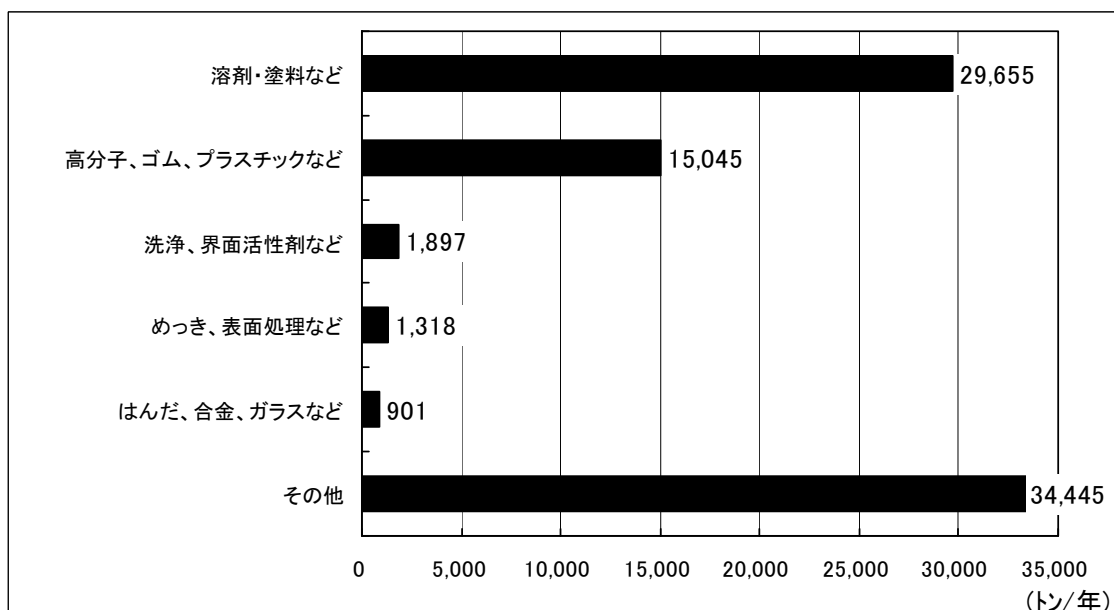


図6-6 用途別使用量

(イ) 管理目標（使用量削減目標）の達成状況

平成19年度の用途別の管理目標（使用量削減目標）の達成状況は、表6-2のとおりでした。使用量削減目標が最も大きい「溶剤、塗料など」や「めっき、表面処理など」で目標を達成しましたが、「洗浄、界面活性剤など」及び「高分子、ゴム、プラスチックなど」では目標を達成しませんでした。

表6-2 平成19年度用途別管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

平成19年度用途別管理目標（使用量削減目標）の達成状況《使用量削減目標順》

用途名	H19削減目標	H19削減実績	達成状況
① 溶剤、塗料など	221 トン／年	4799トン／年	達成
② 洗浄、界面活性剤など	150 トン／年	-255トン／年	非達成
③ 高分子、ゴム、プラスチックなど	63 トン／年	-3183トン／年	非達成
④ めっき、表面処理など	1.1トン／年	149トン／年	達成
● その他	664 トン／年	-3269トン／年	非達成

(ウ) 管理目標（使用量削減目標）の設定状況

平成20年度の用途別の管理目標（使用量削減目標）の設定状況は、図6-7のとおりです。削減目標が最も大きい「溶剤、塗料など」が、当該業種の削減目標全体の21%を占めています。その他の取組で使用量削減を目標に掲げている事業所も多数あります。

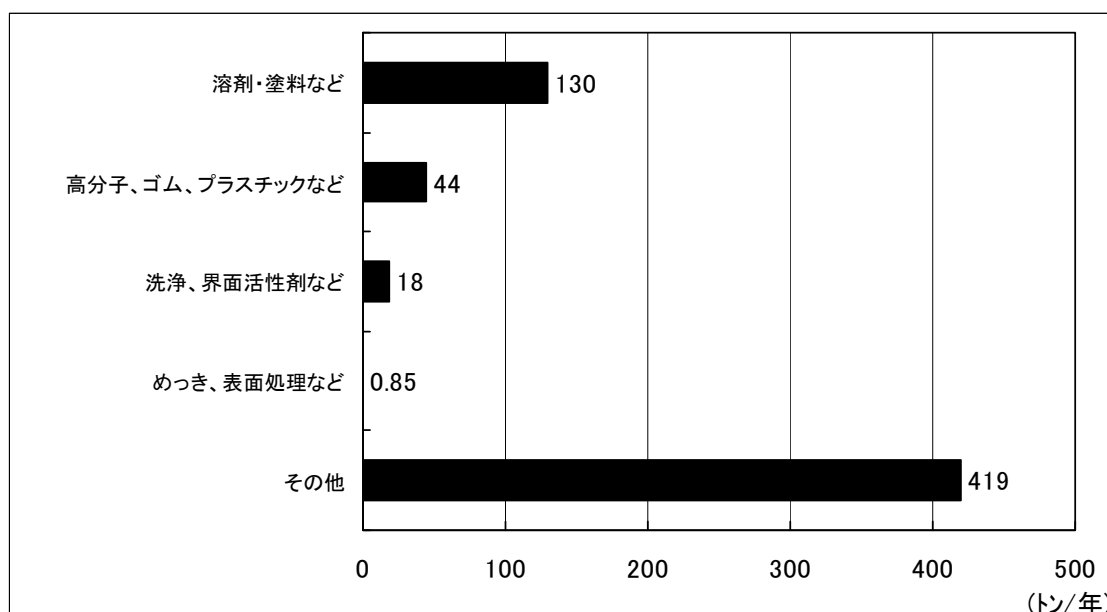


図6-7 用途別管理目標（使用量削減目標）

## カ 取組内容別の状況

平成20年度の取組内容別の管理目標（使用量削減目標）は、図6-8のとおりです。「使用量及び使用計画の見直し」による削減が、当該業種の削減目標全体の21%を占めています。

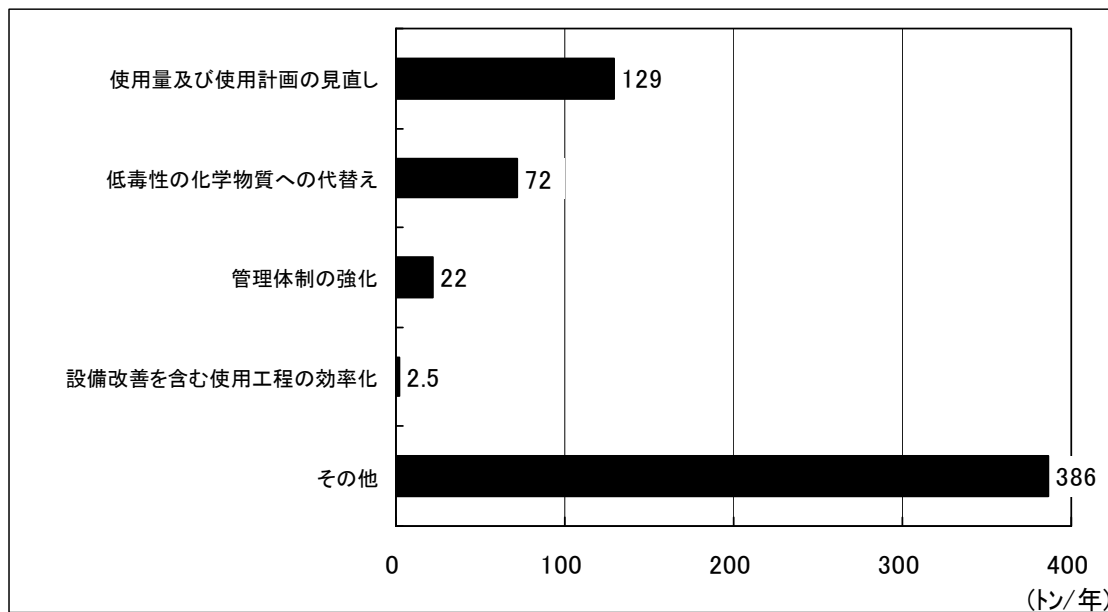


図6-8 取組内容別管理目標（使用量削減目標）

## (2) 輸送用機械器具製造業（使用量第2位）

### ア 使用量別

平成20年度の条例（化管法の届出対象外の事業所を除く。）の報告事業所は67事業所で、使用量別の事業所数は図7-1のとおりでした。使用量上位5事業所で、当該業種の使用量全体の71%を占めていました。

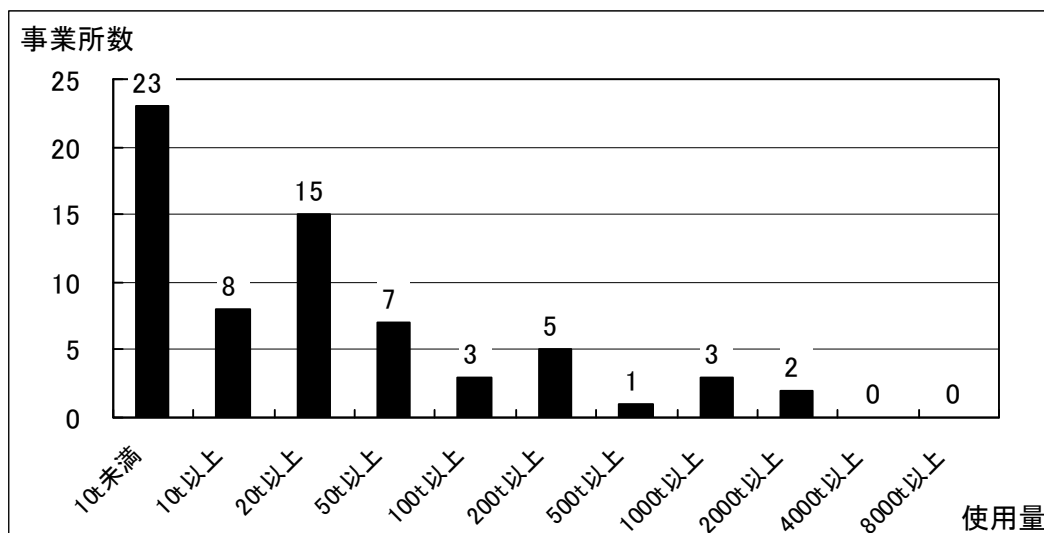


図7-1 使用量別事業所数

### イ 当該業種が占める割合

輸送用機械器具製造業は、条例に基づく報告を行った全事業所の排出量の4.7%を、管理目標（使用量削減目標）では全体の2.9%を占めていました（図7-2、3）。

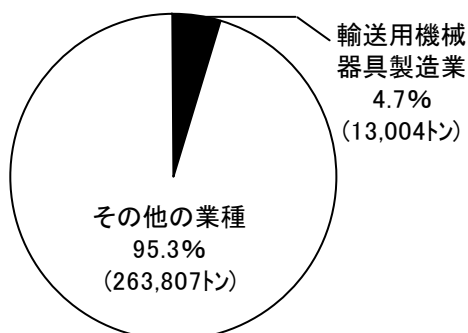


図7-2 使用量  
（平成19年度）

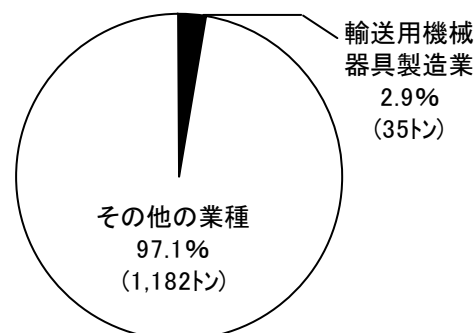


図7-3 使用量削減目標  
（平成20年度）

### ウ 当該業種の管理目標（使用量削減目標）の達成状況及び設定状況

平成19年度の管理目標（使用量削減目標）89トンに対し、使用量が1,265トン減少し、目標を達成しました。

平成20年度の管理目標（使用量削減目標）は35トンで、平成19年度使用量13,004トンの0.27%に当たります。